



かがやけ憲法 キャラバンニュース

- ★北海道→青森→岩手→秋田→山形→宮城→福島→新潟→群馬→栃木→茨城
- ★山口→広島→島根→鳥取→岡山→香川→愛媛→高知→徳島→三重→岐阜→愛知→静岡
- ★鹿児島→熊本→長崎→佐賀→福岡→大分→宮崎→兵庫→大阪→和歌山→奈良→京都
- ★福井→石川

秘密保護法案廃案にむけアピール

●11/27 愛知(1日目)

11月27日、かがやけ憲法キャラバンは岐阜から愛知に入りました。愛知の行動は、名古屋市役所前の早朝宣伝でスタート。秘密保護法案が衆議院で強行採決された翌日であったため、全労連の中山益則常任幹事、愛労連の樽松佐一議長らが、強行採決への批判と秘密保護法の危険性を訴え、タイムリーな情勢を反映した宣伝行動となりました。



愛知県への要請でも、秘密保護法案についてふれ、県としても意見をあげるよう要請しました。また、要請先が県の産業労働部であったため、解雇特区やハローワークの移管の問題につき懇談し、県民への透明性の確保を要請しました。

夕方の金山駅頭での宣伝でも、「秘密保護法への反対署名はないの？」などと尋ねられる場面もあり、市民の関心の高さが見られました。秘密保護法の問題では、参議院での審議・廃案に向けて、引き続きキャラバンで、憲法をいかした政治と社会の実現をアピールしていく決意です。



●11/28 愛知(2日目)

前日、愛知県に入ったキャラバン隊の2日目は、早朝の名古屋駅ミッドランドスクエアビル前の宣伝行動でスタートしました。このビルにはトヨタ自動車の本社が入っています。

寒風が吹き抜ける中、総勢20人が8時からの行動に参加。マイクを握った愛労連の樽松議長は「憲法をくらしや雇用にいかそうと全国をまわっているキャラバンです。特定秘密保護法案が昨夜、衆議院を通過しました。私たちの知る権利を奪うこの法案の廃案をめざして声をあげましょう」と訴えました。

続いて全労連の中山常任幹事がキャラバンを通じて全労連がめざす5つの課題について報告しました。愛高教書記次長の落合さんは、所得制限が導入され、公立高校授業料の無償化を事実上なくす法案が成立したことに対し、子どもたちが学ぶ権利を奪う安倍政権の問題点を訴えました。

名古屋駅の宣伝後は国道1号線をテープを流しながら走行。12時からは名鉄「東岡崎」駅前で宣伝行動をおこないました。地元の西三河地域労連や年金者組合の仲間が集まり、8人で宣伝。西三河労連議長の足立さんは「戦争の始まりは秘密から」と特定秘密保護法案の怖さを訴えました。

東岡崎駅から再び国道1号線を南下し、豊橋駅に向かったキャラバン隊は、昼食に寄った道の駅で、ヒッチハイク中の京都の大学生と合流。車内でキャラバンの意義や労働組合について対話が弾みました。大学生を豊橋駅まで送り、その後は東三河労連の事務所に表敬訪問して夕方の宣伝へ。

豊橋駅では4人で約300枚のティッシュ付きのビラを配布しました。移動の多い行動となった2日目ですが、宣伝でのビラの受けとりも良く、注目度が高いことが実感できました。

